

国語科 学習指導案

令和2年10月 第1学年 指導者 清田 多恵子

1 単元名 古文入門 古文の世界へ (『絵仏師良秀』)

2 学習指導要領上の位置付け

- (1) 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。
「C読むこと(1)ウ」
- (2) 文語のきまり、訓読のきまりなどを理解すること。
「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項ア(イ)」

3 目標

- 「絵仏師良秀」を読むことを通して次の事項を身に付けることができるよう指導する。
- ア 古文に興味をもちながら、話合いに対して意欲的に取り組もうとする態度を養う。
(関心・意欲・態度)
- イ 本文から登場人物の言動や考え方を読み取り、主人公「絵仏師良秀」の人物像について考える力を養う。
(C読むこと)
- ウ 文語のきまりに従って本文を読むことで、古文特有の読み方を理解する。
(知識・理解)

4 指導計画 ※別紙参照

5 本時の展開（5／5）

(1) ねらい

「絵仏師良秀」の思考に優先順位を付ける活動を通して「絵仏師良秀」の人物像をより具体的に考えさせる。登場人物に対する共感や内容理解を通して古典作品に親しみをもたせるようにする。

(2) 展開

学習活動 ・予想される児童（生徒）の反応	時間	○指導上の留意点 ◎研究上の手立て 評価項目<方法（観点）>
1 本時のめあてをつかむ。	5分	○本時の流れを確認させる。 ○話の流れを確認させる。 ○前時のワークシートを資料にして本時の作業に臨むことを伝える。
<p style="text-align: center;">【めあて】 「絵仏師良秀」の思考に優先順位を付けることで人物像をより具体的に考えながら、古典作品に親しもう</p>		
2 登場人物の言動からそれぞれの考えや思いを推測し、ワークシートに記入する。 ・「絵仏師良秀」は火事を見ながら笑っているから家が燃えたことを悲観していない。 ・本文に「あざ笑い」と書いてあるから見舞いに来てくれた人たちを見下しているな。	10分	○班で話し合うための資料となるように、ワークシートに自分なりの推測を書かせる。 ○自分なりに登場人物の思考を考えておくことが、次の班別活動の資料になることを伝える。 ○意見を広げるために、早く書き終わった人は隣席の生徒とワークシートを照らし合わせてもよいと伝える。 ◎前時の振り返りで使用した「キャラクター分析表」に改めて気付いた点を追記させ、自分なりに「絵仏師良秀」の思考の優先順位を決めさせる。
3 「絵仏師良秀」の思考を根拠に優先順位を付けることで、人物像をより具体的に考える。 ・ワークシートの④で眺めている時に家族を助けに行かないことは、⑨で人々を見下すよりもひどいと思うから、家族が一番下かな。 ・⑦で作品の出来に一番重きを置いていそうだけど、⑨の時にEと考えているなら、一番大切にしているものはお金かもしれない。	30分	◎「絵仏師良秀」がどのように考える人物なのか班員と話し合いながら優先順位を決めることで、より具体的に考えさせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 「絵仏師良秀」の思考に優先順位を付けることで、人物像をより具体的に考えている。 〈ワークシート（2）〉 </div> ○既習事項を資料とするよう伝える。 ○優先順位の結果をホワイトボードに書き込み、黒板に掲示させる。 ○他班の意見との相違点について話し合う。 ○クラスとして「絵仏師良秀」の思考の優先順位を決定し、「キャラクター分析表」を完成させる。

<p>4 本時のまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「キャラクター分析表」を見返すと、自分がどんなふう勉強してきたのか分かるな。 ・良秀の好きなことに突き進む姿勢は自分にも当てはまるな。 	<p>5分</p>	<p>○単元の振り返りとしてアンケートを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートに取り組むことで、生徒自身の学習過程を客観視させる。 ・登場人物と自分を比較したり共感したりしながら、作品への親しみにつなげる。
---	-----------	---

6 板書計画

<p>クラス</p> <p><u>1位</u></p> <p><u>2位</u></p> <p><u>3位</u></p> <p><u>4位</u></p> <p><u>5位</u></p>	<p>7班</p>	<p>4班</p>	<p>1班</p>	<p>めあて</p> <p>古文 「絵仏師良秀」 教科書二五八ページ</p> <p>「絵仏師良秀」の思考に優先順位を付けることで、人物像をより具体的に考えてみよう。</p>
		<p>5班</p>	<p>2班</p>	
		<p>6班</p>	<p>3班</p>	

指導計画 国語科 第1学年 単元名「古文入門 古文の世界へ（『絵仏師良秀』）」（全5時間計画）

目標	<p>「絵仏師良秀」を読むことを通して、次の事項が身に付けられるようにする。</p> <p>(1) 古文に興味をもちながら、話合いに対して意欲的に取り組もうとする態度を養う。 (関心・意欲・態度)</p> <p>(2) 本文から登場人物の行動や考え方を読み取り、主人公「絵仏師良秀」の人物像について考える力を養う。 (読むこと)</p> <p>(3) 文語のきまりに従って本文を読むことで、古文特有の読み方を理解する。 (知識・理解)</p>			
評価規準	<p>(1) 古文に興味をもちながら、話合いに対して意欲的に取り組もうとしている。 【関心・意欲・態度】</p> <p>(2) 本文から「絵仏師良秀」の行動や考え方を読み取り、「キャラクター分析表」にまとめている。 【C 読むこと(1)ウ】</p> <p>(3) 文語のきまりを理解して本文を読むことができている。 【知識・理解】</p>			
過程	時間	○ねらい めあて	・振り返り（意識）	・評価項目 ＜方法（観点）＞
つかむ	1	○古文に関する既習事項の復習を通して、本文を正しく読めるようにする。 本文を正しく読もう	・ワークシートを使用して既習事項を確認することができた。本文を正しく読むことができた。	・既習事項の確認をしている。 ・本文を正しく読むことができている。 ＜観察(3)＞
追究する	1	○キャラクター分析表の作成を通して「絵仏師良秀」の人物像を想像する。 キャラクター分析表を作成してみよう	・現代語訳が足りないからよく分からないけれど、なんとなく「絵仏師良秀」という人について想像することができた。	・「絵仏師良秀」の人物像について、班の中で発言している。 ＜表(1)(2)＞
	2	○現代語訳の確認を通して本文の内容を把握させる。 話の内容を読み取ろう ・振り返りとして前時に班で作成した「キャラクター分析表」を配布し、追記させる。	・所々穴あきになっている現代語訳を埋めていくことで、全体としてどのような話なのか理解することができた。 ・「絵仏師良秀」が火事によって炎の描き方に目覚め、画家として成長したことが分かった。 ・現代語訳をする前は分からずに何となく埋めていたところに言葉を足すことができた。	・ワークシートの穴埋めを行いながら、登場人物とその行動を理解しようとしている。 ＜ワークシート(2)(3)＞ ＜表(2)(3)＞
まとめる	1	○「絵仏師良秀」の思考に優先順位を付ける活動を通して「絵仏師良秀」の人物像をより具体的に考えさせる。登場人物に対する共感や内容理解を通して古典作品に親しみがもてるようにアンケートを使って振り返りを行う。 「絵仏師良秀」の思考に優先順位を付けることで、人物像をより具体的に考えながら、古典に親しもう ・前時の振り返りで使用した「キャラクター分析表」に改めて気付いた点を追記させる。 ・「絵仏師良秀」の思考に優先順位を付けさせることで「キャラクター分析表」を完成させ、「絵仏師良秀」の人物像についてまとめさせる。 ・アンケートを使って振り返りを行い、登場人物に対する理解を通して古典作品に親しみをもたせる。	・家が燃えても動揺しないのは炎の描き方が理解できて満足しているからかと思ったが、仏画を究めることで家がいくらでも建つと言っているから、結局はお金のための芸術なのだと思う。 ・主人公の好きなものに邁進してしまう性格は自分と似たところがあるな。	・「絵仏師良秀」の思考に優先順位を付けることで、人物像をより具体的に考えている。 ＜ワークシート(2)＞ ＜表(1)(2)＞ ・登場人物に対する共感や内容理解を通して古典作品に親しみがもてるようにアンケートを使って振り返りを行っている。 ＜アンケート(1)＞